

洛南高等学校附属中学校合格

末永 倫太郎 くん

(所属 豊中教室)

洛南高等学校附属中学校合格

六甲学院中学校合格

明星中学校合格

テーマ 浜学園での自分自身の歩み

「成長できた2年間」

(はじめに) 僕は第一志望だった洛南高等学校附属中学校に合格することができました。僕の体験が後輩の皆さんのお役に立てばうれしいです。

(5年生) 4年生の2月に浜学園に転塾してきました。豊中教室で一番下のH₂からスタート。最初の授業で先生が「今、上のクラスにいて下がっていくより、最後に上のクラスに上がっていた方が良い」と話してくれて、頑張ろうと思いました。

春休みに家族と東寺に行った時に隣の洛南高附属中を見て気に入って、志望校に決めましたが、この頃の公開学力テストは偏差値30台。母には「本気で洛南高附属中を目指すなら、夏までにSに上がらないといけない」と言われました。

両親にサポートしてもらい、復習テストで毎回ベストに入れるように宿題をしました。公開学力テストの成績も少しずつ良くなり、7月にはS₂に、その後すぐにS₁に上がりました。12月の公開学力テストで3科平均偏差値58.0が取れ、やっと最レの受講資格が取れました。理科が得意になっていたため、6年生から社会はやめました。

(6年生) 公開学力テストの結果が不安定で、Mコースの受講資格が取れるのは、毎回、期日も成績もギリギリ。秋ぐらいまでは算数と理科の苦手分野の問題が極端にできず、洛南高附属中の過去問も、10月にやり始めたときは3割ぐらいしか取れませんでした。そこで、洛南高附属中過去問の算数と理科の20年本をやったり、先生に算数の添削をしてもらったりして、とにかくがむしゃらに頑張りました。すると、11月頃に頭の中が整理されたような感覚があり、苦手分野の問題もできるようになりました。

11月の公開学力テストで、3科平均偏差値が初めて洛南高附属中A判定レベルでした。洛南高附属中A判定レベルはこの1回だけで、入試演習やプレでもいつも不合格でしたが、12月には過去問で合格点が取れるようになりました。

(入試期間) 前受けの愛光は不合格でしたが、六甲A、明星後期の特進ともに合格。また、洛南高附属中入試前夜のおやすみコールでは、先生に「自分らしく頑張ってくれば大丈夫」と言われ、自信が持てました。当日のミニ講義で緊張もとけました。本番のテストは難しく、落ちたかと思いましたが、合格できました。

(最後に) 勉強は大変でしたが、やりがいのある2年間でした。